

裁縫業務委託一式仕様書

本仕様書は、国立療養所星塚敬愛園（以下「甲」という。）が、受託者(以下「乙」という。)との間に委託契約する裁縫業務において、必要事項について定めるものとする。

- 1 履行場所
国立療養所星塚敬愛園 裁縫室
- 2 委託期間
令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日 年間稼働日数見込み 243日
- 3 縫製品目及び予定数量
(令和5年4月～10月における7か月の実績、令和5年11月～6年3月は見込で計上した)

日付\種別	種別計																													
	ズボン（難１）	ズボン（難２）	ズボン（難３）	洋服類（難１）	洋服類（難２）	洋服類（難３）	洋服類（難４）	洋服類（難５）	ウエスト直し（難１）	ウエスト直し（難２）	雑巾類（難１）	雑巾類（難２）	足ふきマット（難１）	足ふきマット（難２）	ボタン・ホック付（難１）	ボタン・ホック付（難２）	ボタン・ホック付（難３）	靴下修理	繕い物（難１）	繕い物（難２）	繕い物（難３）	名前布付等（難１）	名前布付等（難２）	布団カバー等作成（難１）	布団カバー等作成（難２）	布団カバー等作成（難３）	その他（難１）	その他（難２）	その他（難３）	
日計	78	54	29	34	74	90	116	42	30	19	61	69	0	2	16	7	127	0	61	29	40	14	172	11	1	3	6	34	5	2
1か月平均	11	8	4	5	11	13	17	6	4	3	9	10	0	0	2	1	18	0	9	4	6	2	25	2	0	0	1	5	1	0
年間予測	134	93	50	58	127	154	199	72	51	33	105	118	0	3	27	12	218	0	105	50	69	24	295	19	2	5	10	58	9	3

- 4 舎廻業務
(1) 予定表に基づき舎廻りを行う。
(2) 各センターの品物は介護員が持参する。
(3) 決められた各舎を廻り、品物を裁縫部へ持ち帰り作業を行う
(4) 各センターは電話し、15時20分までに引き取る。
(5) 一般舎は各舎に配布する。
- 5 裁縫業務
(1) 裁縫受付は裁縫部にて行う。
(2) ミシン等の備品は園の物を、又、糸類等は園の支給品を使用する。
(3) ミシン、アイロン等の備品の修理は園にて行う。
(4) 土曜、日曜、祝祭日、年末年始は休日とする。(12月28日は午前中に大掃除を行う。)
(5) 作業時間 始業) 8:30 終業) 16:30
但し、緊急の場合はこの限りでない。
(6) 作業は別紙「縫製作業要領書」を参考に行う。
- 6 基本的事項
(1) 乙は、業務従事者に対し定期的に衛生及び技術面の教育を行い、業務従事者が変更した際も同様の取扱いとする。
(2) 乙は、業務従事者に年1回以上健康診断を実施し、その結果を速やかに甲に提出すること。
(3) 乙は、業務従事者の接遇教育を行い、入所者及び職員等への対応には不快感を与えないよう配慮すること。

- (4) 業務従事者は、業務以外に業務上必要のない場所には立ち入らないこと。
- (5) 乙は、契約満了又は解除に伴い業務を引き継ぐ際は、当園の運営に支障がないように十分な内容をもって引継を行うこと。

7 裁縫作業業務報告

- (1) 乙は、縫製作業品は品目ごとに数量の確認をおこなう。引き渡し時も同様とする。
なお、数量確認は別紙裁縫集計表に記載し、毎日業務日誌を作成し報告すること。
- (2) 乙は、検収台帳を備え、毎月末に集計し翌日に甲の確認を受けること。

8 その他

- (1) 業務に必要な設備、備品については、無償で利用できるものとするが、使用するにあたっては、善良なる管理に心がけることとし、故意または過失により損傷した場合はその費用は乙の負担とする。
- (2) 受注者は、本業務の全部を一括して第三者（受注者の子会社（会社法第2条第1項第3号に規定する子会社をいう。）を含む。以下同じ。）に再委託することはできない。
- (3) 受注者は、本業務における総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分を再委託することはできない。
- (4) 受注者は、本業務の一部を再委託する場合には、原則としてあらかじめ再委託先に委託する業務の範囲、再委託を行うことの合理性及び必要性、再委託先の履行能力並びに契約金額等について書面により申し出た上で、厚生労働省の承認を得なければならない。
ただし、当該再委託が50万円未満の場合は、この限りではない。また、本業務の契約金額に占める再委託金額の割合は、原則2分の1未満でなければならない。
- (5) 受注者は、本業務の一部を再委託する場合には、再委託した業務に伴う再委託先の行為について、厚生労働省に対しすべての責任を負うものとする。また、本業務の実施にあたり遵守すべき事項について、再委託先は受注者と同様の義務を負うものとする。
- (6) 園内で開催される医療安全及び感染管理に関する研修会にそれぞれ1回参加すること。
- (7) 園内で開催される防火訓練及び災害訓練等に参加し災害発生時の対応手順について把握しておくこと。

縫製作業 要領書

No	作 業 内 容
1	裾曲げ→ズボン、スカート、上着、カーテン他
2	袖曲げ→上着（ジャケット、ジャンパー、シャツ類）他 前後開き仕立て→上着、ズボン両脇 ウエスト直し→ズボン、スカート、寝間着 見返し縫い→上着、ブラウス、寝間着 マジックテープ付け、紐付け、ゴム入れ
3	雑巾，布巾類
4	足ふきマット類
5	ボタン、ホック付→上着、寝間着他
6	ボタンホール塞ぎ
7	靴下修理等
8	繕い物（修理）
9	名前布作り、紐作り、ネーム入れ（チェーンステッチ）
10	仕立て→カバー類（椅子カバー布団カバー、クッションカバー）袋物、ミトン 布団カバー、毛布衿付け→カバーに布団入れ、毛布に衿付け
11	その他(毛玉取り、アイロン、洋服を畳む等)
12	入所者(職員)からの要望にはできる範囲で対応する。

1	ズボン類	
	難度 1	両脇の裾下と、裾脇をほどこきアイロンで伸ばし、サイズに合わせて折り曲げ、しつけする。 縫い目はミシンで縫う。しつけ糸を取り、アイロンで仕上げる。
	難度 2	両脇の裾下と、裾脇をほどこきアイロンで伸ばし、サイズに合わせて折り曲げ、しつけする。 縫い目は手まつりにする。しつけ糸を取り、アイロンで仕上げる。
	難度 3	サイズ直し、裾、脇、巾だし、靴ずれ付、ベルト廻りファスナー直し等、背広用のズボンが多い、どの作業もほどこき、サイズに合わせて切断し、しつけして、手まつりにする。 腰回り、ファスナーはミシンで縫うが、こまかい作業のため、ほどこき等は裏地がある為に時間を要す。

2	洋服類（さまざまな直しをするため、難度を5種類とする。）	
	難度 1	裾曲げ、袖曲げ、ほつれ等はほどこき、アイロンで伸ばし、サイズに合わせて切断し、しつけする。ミシン縫いが多い。 ロックミシンを使う場合もある。しつけを取り、最後にアイロンで仕上げる。
	難度 2	直すところをほどこき、サイズに合わせて切断し、しつけ縫いをして、手まつりで仕上げる。最後にしつけを取り、アイロンで仕上げる。2ヶ所直す場合もある。
	難度 3	Tシャツやポロシャツは、えり部分をほどこき、介護用が多く前身頃を切り開き、別布をサイズに合わせて縫いつける為、えり部分から全体的にしつけする。ボタンホールを付け、ボタンホックやマジックテープを使うことも多い。最後にアイロンで仕上げる。
	難度 4	難度3の作業のほか、肩から袖口まで切り開き、同じ作業を前身頃開きや、肩開きもする。ほどこきを全体的にするので、時間を要す。最後にアイロンで仕上げる。
	難度 5	さまざまな衣類があるが、ほとんど全体的にほどこき、バラバラにして行う。パジャマの長着仕立ての場合、上着1枚、ズボン2枚をほどこき、生地寸法を測り、裁断し3枚を縫い合わせる為、しつけ後ロックミシンで縫う。上下縫い合わせ前身の合せ部分を折り曲げて、見本縫いをする。マジックテープを付けるために、厚めにする。縫い目にアイロンをかけ押さえ縫いをする。 裾にロックミシンを掛け、2センチ位折り曲げて本縫いをする。 作業は1～2日かかる。背広等の直しもある。

3	雑巾、布巾	
	難度 1	新品のタオル等で作る場合は、サイズに合わせて折り曲げ、アイロンを当てて、ミシン縫いし、アイロンをかけて仕上げる。
	難度 2	古品タオル、バスタオルはサイズに合わせて切断する。 古品は縫い目がゴワゴワしているため、手が不自由な方の負担にならないように、柔らかめに仕上げる。 作業は難度 1 と同様の工程となる。 要望によっては、花柄に仕上げる。

4	足ふきマット	
	難度 1	バスタオル、シーツ類をほどき、サイズに合わせて折り曲げアイロンを当てて、ミシンで花柄模様に縫う。
	難度 2	2 枚合せて厚めに重ね縫いする場合が多い。

5	ボタン、ホック付	
	難度 1	ボタンを取り除き、ホックを付け最後のみボタンを付ける。 4 組以内とする。
	難度 2	難度 1 の作業と同じ 5 ～ 6 組とする。
	難度 3	難度 1 の作業と同じ 7 組以上とする。

6	ボタンホールふさぎ	
		ホックを付けるために、ボタンホールを塞ぐ。 服により、穴数が不特定なため、1 着分とする。

7	くつした破れ補修	
		穴の開いた靴下の、破れ部分を切り取り、別布でまつり縫いをして塞ぐ。

8	繕い物(修理)	
		入所者からの依頼に沿った衣類等の補修を行う。

9	ネーム入れ、名札作り、紐作り	
		ネームがほどけないようにするため、チェーンステッチする。 ひも、ネーム布は、大きさに合わせて型紙を作り、サイズに合わせて切断し、アイロンをかけ、折り曲げて、ミシンで縫う。

10	仕立て
	カーテン直し 2枚分で1枚に仕上げる。縫い合わせ部分をほどき、サイズに合わせて縫う。また、サイズ直しの場合も、ほどき、下にフリルを付けたり、ヒダを付けたりする。 最後にアイロンをかけて仕上げる。
	座椅子カバー、車椅子カバー作り
	品物に合わせ頭部、背中、手の部分の型紙を取り、作成する。 品物に合わせて、マジックテープ等も付ける。 複雑な作業のため、時間を要する。 2人1組での作業が多い。
	敷きパット
	大判のバスタオルを3等分に切り、切り口にロックミシン掛けし、パット表、タオル表を上にして、寸法を測りしつける。 その上を本縫いする。タオルを折り曲げて、マチ針で止めてからしつけする。裏(中)の方もしつけして本縫いし、角を作る。 中がだぶらないように気を付ける。 パットの折り曲げ部分は5センチ、タオル20センチで折る。
	クッションカバー作り(丸型)
	丸いクッションカバー(直径50センチ、マチ部23センチ) ひもを付ける部分は両開きできるように、幅部分のマチ部寸法長さを70センチで裁断する。円形も寸法通り2枚裁断し、マチ部分も裁断する。初めにひもを付ける部分から作成する。 マチ部分の中心を切り、切り口にアイロン掛けし、ロックミシンを掛け、折り曲げて本縫いする。持ち部分は裁断後、4センチ位の巾に中表で縫ってから、表に返してアイロンかけ後、本縫いで3本押え縫いする。開くところは、両サイド10センチ位を縫う。 片方に持ち手を縫い付け、マチ布を開くマチ布と縫い付ける。しつけ後本縫いし、ロックミシン掛け後、縫い目をアイロン掛けし、押えミシン縫いする。円形とマチ布を両方ともにしつけ本縫い、ロックミシン掛けする。円とマチ布が綺麗に合うようにする。 開く部分にひも4本を縫い付ける。
	布団カバー、毛布カバー作り(えり付)
	布団カバー とじ縫い
	布団とカバーを隅々まで綺麗に、引っ張り合わせてから縦横とも5ヶ所ずつとじ縫いする。中のごうす部分は3ヶ所ずつとじ縫いする2人1組で作業する。
	布団えり カバー付け
	バスタオルを3等分に折り曲げて、1/3を表側に置きコの字型にぐし縫いする。2/3を裏側にひっくり返し、コの字型に細目ぐし縫いする。表にしてバスタオル3ヶ所をとじ縫いする。
	座布団カバー、枕カバー作り
	座布団カバー
	依頼者から提供された材料で、依頼された寸法どおりに縫製し、ボタンまたはひもを取り付ける。

	枕カバー	依頼者から提供された材料で、依頼された寸法どおりに縫製し、ボタンまたはひもを取り付ける。
	ミトン作り	
		ミトンを裏返してから片方の端をほどこき、別布からミトンの裏地(半分)を裁断する。中表から片方縫い、ミトンの先にかぶせ全体をしつけ縫いし、本縫いする。 周りをロックミシン掛けする。

11	その他	
	アイロン掛け	持ち込まれた衣類、シーツ等にアイロンをかける。
	洋服畳み	持ち込まれた服を畳んで戻す。
	毛玉取り	毛玉を取る。

12	入所者(職員)の要望に沿った対応	
		入所者は手足の欠損等で不自由な方が多いためできる限りの対応をお願いします。